

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲9.8%、前年同月比+6.6%。売上高は前月比▲5.9%、前年同月比+30.5%となった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

先月と比較し、やや回復基調にある。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

令和6年4月の全国新設住宅着工戸数は76,583戸で前年同月比+13.9%、季節調整済年率換算値では880千戸(前月比+15.8%)となった。利用関係別では、持家は17,878戸で前年同月比▲3.9%、貸家は34,598戸で+20.6%、分譲住宅は22,955戸で+16.5%、また木造住宅は38,809戸で前年同月比+4.4%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が29ヵ月連続となったものの、貸家が再び増加に転じ、分譲住宅は4ヵ月ぶりの増加となった。木造住宅は25ヵ月ぶりの増加となっている。

【広島県】

令和6年4月の着工戸数は1,558戸で前年同月比+19.0%、うち持家は349戸で+2.9%、貸家は715戸で+5.9%、分譲は494戸で+69.2%、延床面積は前年同月比+20.2%となった。県全体の着工戸数は分譲マンションの大幅な伸びにより増加し全体的に回復している。

木材価格は、外材の輸送コストの高騰により維持されている。円安進行や燃料費上昇等により、海上輸送費が上昇している事が要因。

また、プレカット工場等は、インフレによる住宅価格の高騰による施主の持家住宅の購入意欲の減退などに起因した稼働率の低下に加え、配送料の上昇分の価格転嫁も難しい状況にある。

福山木材協同組合

先が見えない状況が続いている。悲壮感が漂っており、このままでは業界内で倒産が増える可能性がある。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

インバウンド需要は増えているが、コストは上昇している。最も深刻なのは人手不足であり、人材確保のために他業界に賃金などの格差をつけられないようにすることと、業界のイメージアップを図る事が重要。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。生産を休止していた得意先が予定より前倒しで再開するなど、光明もある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・昨年はG7広島サミット開催の影響で生産量が下がったので前年同月比では増加しているが、自動車業界の生産量は下降傾向である
- ・原材料価格、人件費等の上昇分に対する価格転嫁は実施されつつあるが、時期や上昇幅は業界によってばらつきがあり継続した対応が必要

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況

令和6年05月	2,139 m ³ (前年比88,4%)
令和6年04月	2,476 m ³
令和5年04月	2,419 m ³

- ・令和6年度想定数量

760,000m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

軀鉄鋼協同組合連合会

一部の企業を除いて売上高や操業度の低下や、原材料、電気代や燃料代の高騰による収益性の悪化がみられる。また、生活関連商品の価格高騰による消費者の購入意欲の減退が起きている。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+51.8%、前年同月比▲0.8%となった。また、日工会の発表では工作機械受注総額(4月分)は、前年同月比▲9.0%となった。国内外で設備投資に対する企業の慎重姿勢が要因と考えられる。地域別では中国における自動車関連向けが回復したため、アジア地域の受注額が増加に転じた。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比▲32.0%、前年同月比▲18.0%となった。機械装置の売上減少が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は国内・海外(特に米国)の市場の底堅い需要により販売環境は好調。新型車の大型SUVも期待が大きい。

(5月度自動車国内販売動向)

全需は312千台、前年同月比▲4.4%と5ヶ月連続で減少。(登録車は▲2.4%、軽自動車は▲7.7%)、マツダ車は▲18.9%と6ヶ月連続で減少。内訳は登録車▲21.3%(7.1千台)、軽自動車▲11.3%(2.5千台)となった。

(4月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,336千台で、前年同月比▲1.9%と4ヶ月振りに減少。マツダは▲3.8%と、前年同月を6ヶ月振りに減少。

欧州の全需は1,130台で、前年同月比+1.9%と増加。マツダは+15.9%と前年同月比で5ヶ月ぶりに増加。

中国の全需は2,253千台で、前年同月比+4.3%と3ヶ月振りに増加。マツダは+19.3%と4ヶ月連続で増加。

マツダの4月の海外販売は、合計台数が82.2千台、前年同月比+7.8%。欧州と中国が持ち直して、アメリカ以外の北米向けが増加し、全体としてはプラスとなった。

(4月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+0.5%と欧州への輸出が増え、全体で微増となった。一方で国内生産台数は、大型SUV等の減産が影響し、前年同月比で▲10.7%となった。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年4月の船舶建造許可実績は2隻、162,900総トンであった。(前月4隻97,540総トン、前年同月5隻157,740総トン)なお、内訳は、輸出船が2隻で、貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・円安の影響から各種商品の価格が上昇したことで、前年比では売上が増加している。しかし、生活関連商品においては消費者の購買意欲が向上しない状況が続いている
- ・コロナ関連融資の元金返済が本格化する中、経営改善のために資金繰りの安定化を優先する企業もあるが、仕入れコスト上昇等により、新規の資金調達に限られる企業は資金繰りが更に悪化する傾向にある

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

住宅市場は、前年と同水準と予測。省エネ商材・太陽光・蓄電池等への対応が求められる。非住宅市場は、省エネに対するリニューアル設備投資(補助金活用)の需要増加が見込まれる。広島市内は再開発事

業が活発で需要増加が期待できる。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

当月の取扱高は、びんご特撰が前月比で増加、前年同月比で減少となった。JAS表も同様の動きだが、前年同月比▲59.0%と大きく減少している。これから梅雨の時期に入るため市場流通の量は減少すると思われる。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

GW期間中のガソリン販売は、コロナ禍明けということもあり期待されていたが、物価高による外出自粛の影響を受け、全く振るわなかった。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・5月度中央市場水産部の取扱高は、魚価の相場高により先月同様に前年実績越えるも、消費者の生活防衛による買い控え傾向がより鮮明になっている。特に外食関係は大型連休明けから荷動きが鈍化した。また、インバウンド需要の波及効果は一部を除いて薄いと感じる
- ・5月度中央市場青果部の取扱高は、野菜や果実は出荷量の減少により先月に続き相場高となっており、結果的に取扱高は前年より若干の伸長であった
- ・大企業の賃上げが大きく報じられているが、食品小売業者は電気代やガス代などの水道光熱費や人件費などの上昇分の価格転嫁を最小限にとどめているのが現状であり、従業員の大幅な処遇改善をする余裕がなく、対応に苦慮する事業者が多い

協同組合三次ショッピングセンター

食料品など生活必需品の売上は好調だが、専門店が伸び悩んでいる。価格の安いドラッグストアやディスカウントストアに流れているものと推測される。市内ではドラッグストアの新規出店やスーパーマーケットの出店計画もあり、今後も競争激化が予想される。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年5月度販売実績101%（前年同月比）。AV商品99%、白物商品107%、薄型テレビ103%（内有機EL93%）、DVD118%、冷蔵庫100%、洗濯機95%、IHクッキングヒーター102%、エコキュート106%、エアコン118%、炊飯器116%、電子レンジ113%、掃除機114%。

地域に無くてはならないインフラとしての存在価値を示すことが重要であるが、家電商品のみでは、経営は厳しい。オール電化・リフォーム等のウエイトを高めることが重要だが、個々の電器店の提案力に差がある。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲13.6%、前年比+6.5%
- ・車検場収入は、前月比▲11.5%、前年比+7.2%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+10.4%、前年比▲0.3%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

閑散期ではあるが、例年に比べ稼働している。

●警備業

広島県警備業協同組合

人材不足が深刻である。募集をしても応募が少なく採用に苦戦している。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、当月は前月比▲32.7%、前年同月比▲14%となった。大規模な物件や住宅・マンションの件数も少ない。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、296件で前年同月比102%となった。

神辺建設業協同組合

物価高騰や人材不足が続いており、業況は停滞している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・5月の売上高は、前月比は減少、前年同月比は増加となった
- ・軽油価格は政府が支給する補助金が大幅に減少したため、若干の値上げとなった

松永地区トラック事業協同組合

- ・5月の売上高は、前月比、前年同月比ともに減少となった
- ・今年の1月頃から荷動きが悪い状態が続いていたが、先月から更に厳しくなり、全ての業種で荷動きが鈍化している。原材料の単価上昇などが影響している可能性がある
- ・荷主との交渉の結果、運賃が多少は上がったが、貨物輸送量が減少しているため、収益状況は悪化が続いている

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

働き方改革が進められているが、まだまだ現場には浸透していない印象がある。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・今年度は固定資産評価の公的評価作業が無い分収入は減少する見込み
- ・円安等の影響によるインバウンドで観光客が増加し、繁華街等の客足が戻ってはいるが、小規模店舗は依然として、コロナ前の状態には回復していない
- ・不動産市場については、マンション販売が一時期に比べ鈍化している。これからの新築マンション価格は建築資材の高騰や人手不足の影響によるコスト増加が要因となり、販売価格が上昇すると予想される